

2019 年度

授業概要

科目名		補聴器・人工内耳			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年		必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

聴覚障害者(児)に対し、最良と考えられる補聴器の適合、評価、装用指導する為の聴能学、補聴学に基づく理論、技術を習得する。

【授業全体の内容の概要】

補聴器の適合理論と方法、評価法、装用指導について。
補聴器の構造と適合に関する技術について。

【講師の実務経験】

言語聴覚士として大阪府立身体障害者福祉センターに勤務。音声学に精通している。

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

聴覚障害児、者の補助手段の中で、主として用いられる補聴器の適合と訓練方法を修得する。

回数	講義内容
1	聴覚障害者の実態、難聴について、補聴器の体験
2	難聴の程度と補聴器、補聴効果、補聴器の適応
3	補聴器の効果と限界、フィッティングの流れ
4	フィッティングの流れ
5	補聴器の種類・構造・特徴
6	補聴器の種類・構造・特徴
7	補聴器の特性測定
8	フィッティング
9	〃
10	〃
11	〃
12	デジタル補聴器とアナログ補聴器
13	〃
14	補聴器装用訓練
15	まとめ

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

試験、100点満点で評価する。